

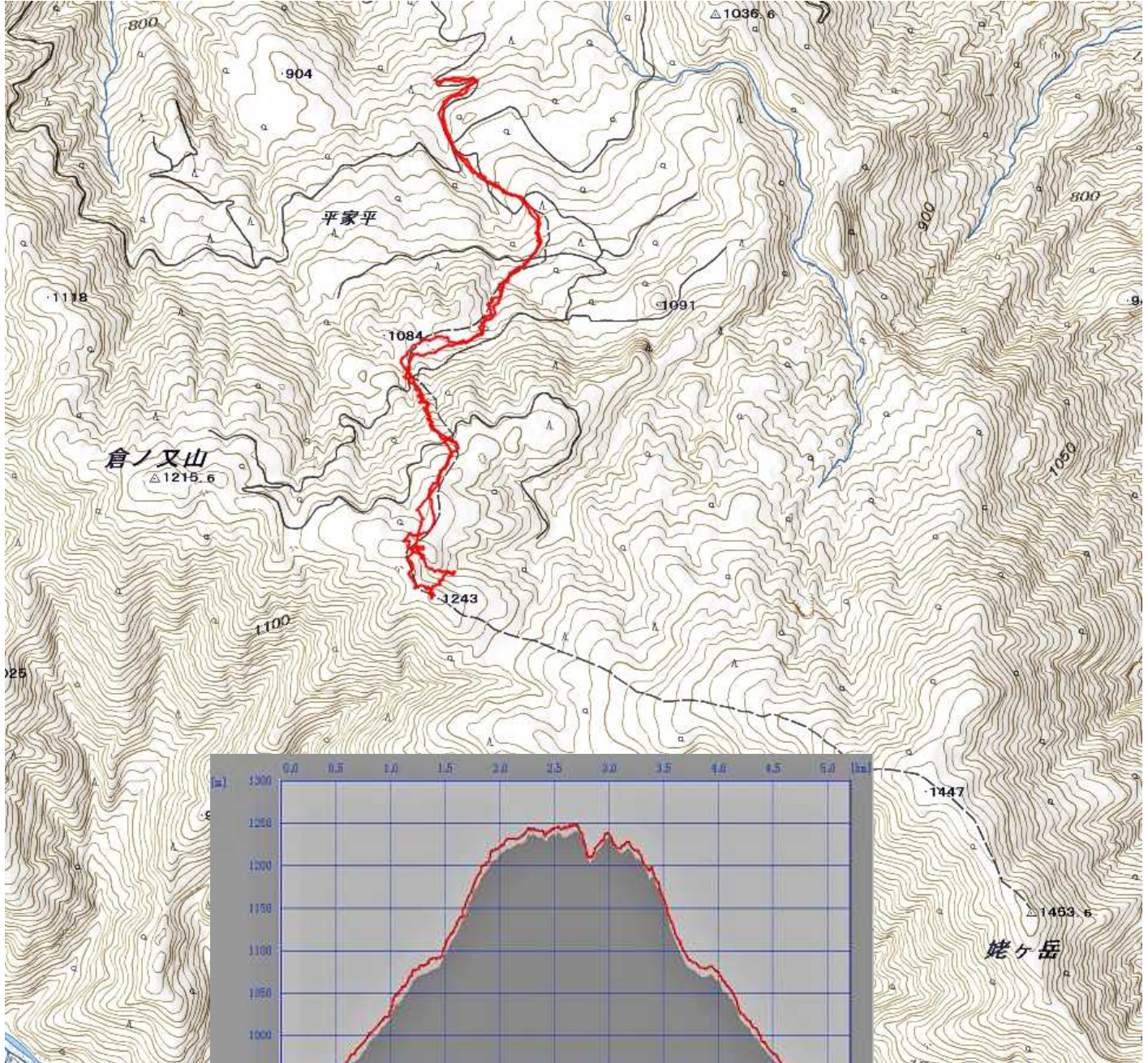
2015年5月14日(木) 越美山地 姥ヶ岳 単独行

* 残雪多く登山道見つからず途中撤退する。

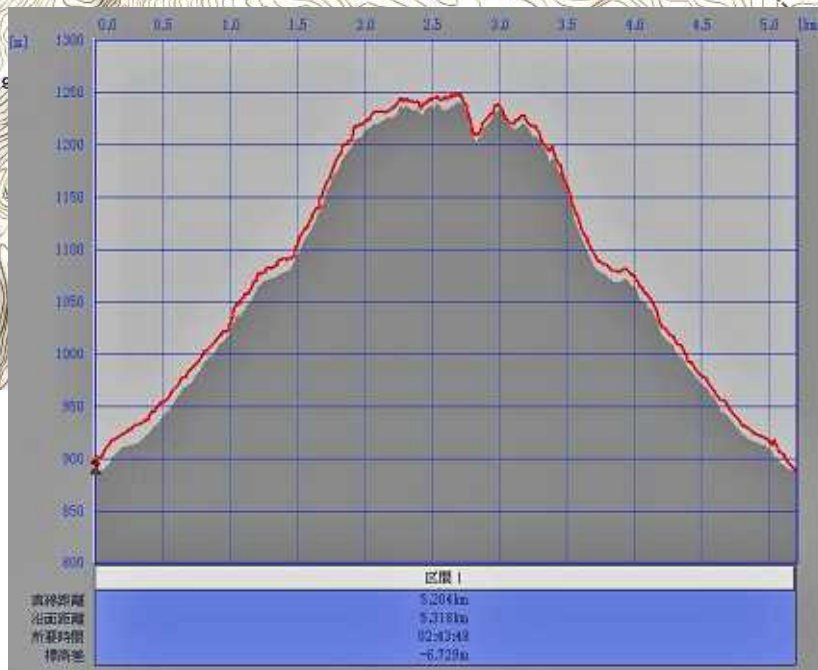
コース距離: 5.3 km 所要時間: 2時間43分(休憩含む)

コースタイム: 900m地点(駐車) 7:09 7:16平家平 8:42 1243m地点 8:50
9:46平家平 9:53 駐車地点

《山行軌跡》



《行程グラフ》



*** アプローチ:**

3時20分自宅を立ち大山崎ICより福井ICへ、国道158号で大野市へ大野市から国道157号へ青少年旅行村のある分岐で冬季通行止めの看板があるが無視して看板の横を通り抜けて進む車は途中で停めているものが確認でき工事も行われている。

巢原橋で林道に入るつづら折りの道を進んでいくとゲートが有るが開いているので進んでいくコンクリートの細い舗装道路を進んでいく平家平近くまで入ってカーブしたところで残雪があり進めなくなったのでカーブの所で車を駐車する。

*** 山行記:**

車を駐車した辺りは900m地点で7時9分歩き始める少し上のカーブは下の所より残雪が多く残っている7時16分平家平に鎖が掛けられ奥にはゲートもある所を中に進む、姥ヶ岳の登山口の立札から登山道に入るブナ林の中も残雪が多く登山道を探しながら進んでいくテープが付けられているので助かるがテープが見付けられないところも多く時間がを掛けて登って行く。

テープが登山道から外れて付けられている進んでいくと下に下がっていくGPSを確認すると登山道は上の方である、いったん戻りGPSを頼りに尾根道を進んでみるが道らしきところはなくブッシュ扱きで諦め横の斜面に出るが傾斜がきついうえに残雪で覆われている。

8時50分アイゼンを持参していないので横切ることが難しく雪崩を起こさぬよう下ることにする慎重に蟹の横這いで下って行く途中で残雪が崩れる所もありゆっくりと降りていく。

下に降り立ち沢を除いても登山道らしきものは見当たらない、仕方なく上に戻るとリボンの合ったところに戻った先ほどの降り立った所から先の尾根が登山道と検討を付けるが斜面を登っても今が9時前で先は長く帰る時は雪が緩み雪崩れる恐れがあり下ることにする。

周りを観察しながら来た道を戻る9時53分駐車地点に帰り着く、山中では一人も会うことはなく近日に歩かれた痕跡もなかった。



カーブの所で積雪 先に進めず



平家平 鎖が掛かってる道が登山道側



姥ヶ岳の登山口





姥ヶ岳への登山道残雪



部子山(平家平から)

部子山(左)と银杏峯(右)

